

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2018年3月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第592号

去る二月一二日、関西セミナーハウス五〇周年感謝会に出席した。この美しい修学院の土地建物を譲渡されたクリスチャン実業家野田鏐五郎氏の遺族にお会いし、またハウスの運営を担われた元職員たちのスピーチを感銘深く伺った。それで、関西セミナーハウスとほぼ同じ時期に発足した大磯アカデミーハウスのことを想い出したので、短く記すこととしたい。

一九六二年に設立された大磯アカデミーハウスのことを知る人は、今ではほとんどいない。日本における最初のターゲントク・ハウスとして、神奈川県二宮の大磯海岸に面した丘陵三五〇〇坪と瀟洒な日本家屋が、ヒルデガルト夫人から、亡くなった夫カール・フォークト氏を記念して譲渡された。「大日本帝国憲法」

のドイツ語訳者として知られる同氏の別荘だった施設である。同氏逝去後、故国に帰国される夫人から、日独の精神的架け橋として用いて欲しいと譲られたのだ。この敷地内にアカデミーハウスを建て、元の家屋と共に、長く大磯アカ

## 大磯アカデミーハウスとフォークト氏

関東活動センター運営委員長

戒能 信生



大磯アカデミーハウスの土地を寄贈されたカール・フォークト氏



ヒルデガルト・フォークト夫人の描いた絵

して現在に至っている。その六階にはフォークト・ルームが設置され、フォークト夫妻を覚えて来た。壁には、ヒルデガルト夫人が描いた絵が掲

カデミーハウスとして利用されたが、その後隣接するプリンスホテルの要請に応じて譲渡し、箱根の地にハウスを移転した。しかし研修施設経営の困難から、それを処分した資金で東京西早稲田の日本キリスト教会館六、七階を取得

げられていた。

この三月、フォークト法律事務所を引き継いだゾンデルホフ&アインゼル法律特許事務所のエリック・アインゼ

ル氏から、フォークト氏の自伝「Aus der Lebenschronik eines Japandutschen 1897-1941」のドイツ語が送られてきた。格調高いドイツ語で書かれた手記で、明治三〇年

日以来、生涯を日独間の法律実務を担った同氏の生涯が克明に記されている。注目すべ

きは、日本海軍がドイツから軍艦を購入する際に起こしたシーメンス事件のドイツ側の弁護士がフォークト氏だったという事実である。明治期の日本海軍は当初イギリスとの関係が深かったところに、ドイツのシーメンス社が割り込もうとして起こした収賄事件とされ、時の山本権兵衛内閣が総辞職したことで知られる。この事件については、今も様々な謎が多いとされ、ドイツ側の事情を伝える一級の資料と言えるだろう。

さらに第一次大戦に際して、独特の愛国者だった同氏はドイツ軍士官として応召し、青島で日本軍の捕虜となっていた。そして熊本や久留米の捕虜収容所暮らしを経験する。その際、日本軍とドイツ側捕虜との間に立つてその融和に貢献したことも記されている。またフォークト氏は音楽家でもあり、彼の作曲したリート曲も収録されている。

関東活動センターの最初の出版に寄与されたフォークト氏夫妻のことを感謝を込めて覚えてい。

(日本基督教団千代田教会牧師)

関東活動センター

◇緊急企画◇

「いまポピュリズムをどう考える?」

早稲田大学法学学術院教授 水島 朝穂さん

2017年12月1日(金)

関東活動センター事務室にて



近年、イギリスの国民投票でEU離脱が多数の結果となり、アメリカではトランプ氏が大統領に選出され、フランス大統領選の決戦投票に国民戦線のルペン氏が残る等々にわかには信じがたいことが、世界中で次々に生起している。

ていく道を共に考えるために、ポピュリズムに関してきちんと学びたい、そうした発想の下で今回の緊急講演会の準備は進められた。

講師には、憲法学者であると同時に、幅広い研究領域とご自身の関心とを活かして、現代をさまざまに分析してこられた水島朝穂さん(早稲田大学法学学術院教授)をお迎えすることとした。

「いまポピュリズムをどう考える?」と題しての講演。ポピュリズムに関しての講演依頼は初めてだという講師。当初、主催者は自分のことを「ポピュリズムとは何か(中公新書)で知られている「水島治郎」氏と間違っているのだからと思うたが、確認したら自分ということだった、と笑いを取ってから話を始められた。

大学の講義でも「モノ語り」を大切にしており、研究室にも材料を多く収集しておられるという水島氏。世界中のさまざまな現場に足を運んで収集してきたモノに触れて、感じ、学んでほしいと、幾つものグッズを示しながらのお話であった。

イギリスの大衆紙を示してのEU離脱への正直な国民感情について、アメリカでの大統領選時の投票済みバッジやトランプ応援のキャップから、どんな雰囲気の下で選挙が行われ、選出結果に皆がどんな思いを抱いたのか、ドイツのリベラル雑誌の表紙でトランプを痛烈に皮肉っている様から、ドイツに根強い反トランプ的な反応など、世界の情勢と雰囲気をもとに雄弁に語らせた。

ポピュリズムの定義に関しては、基本、日本語に訳せないのかタカカナ表記としていこと、何とか日本語にするなら、最も適切なのは、既に広く用いられている「大衆迎合主義」ではないかとした。ポピュリストは、マスコミを通してではなく、直接的に

大衆に語りかけることを重視し、極めて具体的な利益を彼らに示し、実に扇情的な語りで大衆の感情に訴えかけることが特徴で、ヒトラーがその典型、日本では中曽根康弘氏や小泉純一郎氏などもその類型と考えられるとした。

安倍晋三首相は、その言語・演説能力、あるいは纏っている雰囲気からして、およそポピュリストならざる存在であるが、周辺がポピュリズム的手法を用いて、彼をそれらしく仕立てて操っている、自分にはそのように感じられると率直に語られた。

講演後半は、「憲法改正論議」の危険性に関して。「憲法とは何か」を巡って誤解があること、憲法は国民が守る大切な決まりというものではなく、憲法九十九条に「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を擁護する義務を負う」とあるように、権力者を縛る性質を持つと理解しなければならぬこと、「立憲主義」は人権保障と権力分立を二大柱とするので、これを軽視、無視、蔑視する政権

のあり方は徹底的に批判されなければならないと語った。こうした指摘の上で、現政権が強力に推進しようとしている「憲法改正論議」を、このままに進めていくのは、あまりに危険であると強調。また「権力は腐敗する傾向をもつ。そして、絶対的権力は絶対的に腐敗する」というアクトン卿の言葉を紹介し、その通りのことが、現在、森友学園・加計学園問題を通じて露呈していることにも注意を喚起した。

ポピュリズムといかに向き合うべきかについては、二つの要点を示された。

一、ポピュリズムは、眼前の課題へ安易な夢を語るが、結果責任は一切負わないと、心に刻んでおくこと。

二、雰囲気は飲み込まれず、自らさまざまに情報収集し、学び、しっかりと考え、ポピュリズムに踊らされないこと。テレビドラマ「相棒」や、法螺↓ホラー↓ほら、やっぱりと変化するであろう「水島のほら話」など、聴衆を飽きさせることなく話は次々に展開。あつという間の一時間半だった。

関西セミナーハウス活動センター

●2017年度「開発教育セミナー」第6回  
「もつと知りたいイスラーム」  
「中東とヨーロッパの『いま』から学ぶ」

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授  
ル・スタディーズ研究科協会のアカデミック・アドバイザー、立命館大学講師  
内藤 正典さん  
小杉麻李亜さん

2017年12月9日(土)〜10日(日)



1日目は内藤正典さんを講師に招き、世界各地でテロが拡がっている背景を学んだ。第1セッションは、基本的なイスラーム理解クイズから始まり、現地調査をもとに、ヨーロッパ諸国のムスリム移民・難民への対応の実態が紹介された。「神と共にあるからこそ自由がある」と考えるイスラームを理解しようとする西欧社会との断絶が共生を困難にし、無理解が排外主義を助長し、憎悪の眼差しが共生



を阻害していると感じた。第2セッションでは、シリア市民が映し出された写真を読み取り、シリアと中東情勢について理解した。内藤さんによると、日本人ジャーナリストが写真を撮る場合、ほとんどはアサド政権にアシストされたものであり、見る者のリテラシーが問われるということだった。

2日目は、ムスリムが身に着けるゲッツをもとに、小杉麻李亜さんがムスリムの



昨年7月7日、国連会議に於いて、「核兵器禁止条約」が採択された。これを受けて、できるだけ正確に、広く知り合うことを願って開いた。講師は以下のことをわかりやすく話された。

この「核兵器禁止条約の国連会議」に、コストリカのホ

●2017年度 修学院フォーラム「社会」第3回  
「核兵器禁止条約を知り考える集い」  
「なぜ日本は「核兵器禁止条約」に賛成できないのか—何が日本を守るのか」

原水爆禁止世界大会起草委員  
長 関西学院大学法学部教授 富田 宏治さん  
2017年12月16日(土)

フアッションや考え方を詳細に解説し、ムスリムをととも身近に感じることができた。また、地域・学校・職場で実際に起こっている問題の解決方法をグループで考えた。

両日ともに、質問にも的確にこたえてもらい、研究者を招いてセミナーを開催する利点が十分に活かされたと考えられる。そして、私たちの責任や関わり方を深く考える機会となった。

は先制攻撃力になる。「やれるもんならやってみ！ただじゃすまへんで！」と凄むヤクザ的な論理、これこそが抑止力論である。現実には、北朝鮮の核武装を含め、大変危険な状態に入っている。一方、「核兵器禁止条約」に努力してきたICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)がノーベル平和賞を受賞した。日本政府は、これをも認めようとはしない。この条約を政府に認めさせることは、唯一の被爆国である日本国民の国際的責務ではないか。



講演を受けて質疑応答の後、全員の話聞き合う時を持った。

**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**聖書を読む講座 I**

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」(第一期)(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：2018年4月～2019年2月(8月休会)

第2火曜18:30～20:00

①4月10日、⑤5月8日

会場：早稲田奉仕園スコットホール 222号室

参加費：1,200円/学生 500円

共催：早稲田奉仕園

■**2018年度関東フォーラム 宗教対話 I**

「日本キリスト教史を読む」II(大正篇全7回)

第1回「救世軍の指導者山室軍平の生涯と信仰」

講師：戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

日時：2018年5月10日(木)

14:00～16:00

会場：早稲田奉仕園セミナーハウス 101号室

参加費：1回 500円

■**2018年度関東フォーラム 宗教対話**

礼拝のためのボイストレーニング(全5回)

講師：友野 富美子さん(元声優)

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本キリスト教アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
TEL 075-711-2147  
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館1F  
TEL 03-3207-6198

E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail:office@academy-kansai.org

高知放送「キリストへの時間」パーソナリティ 日本キリスト教団経堂緑岡教会担任教師)

日時：5月28日～6月25日毎週月曜 14:00～16:00

会場：日本聖書神学校

参加費：1回 1,000円

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜 清心会**

日時：2018年4月8日(日)

9:00～15:00受付

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000円、臨時会費 1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2018年度お茶のこころと宗教のこころ**

「聖書をいっしょに読みましょう」(全8回)

座長：榎本 栄次さん(日本基督教団牧師)

日時：2018年4月～12月(8月除く)第1または第2木曜 13:30～16:30

①4月12日、③5月10日

会場：関西セミナーハウス

参加費：1回 1,500円 学生 500円(抹茶含む)

定員：20名

■**2018年度修学院フォーラム「社会」**

第1回く宗教と戦争を考える5> 「新渡戸稲造の平和」

講師：佐藤 全弘さん(大阪市立大学名誉教授)

日時：2018年4月21日(土)

13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,300円、学生 1,000円(コーヒー込)

第2回「東アジアの平和と和解—近代日本人のアジア認識と平和の取り組みの可能性」

講師：山本 俊正さん(関西学院大学商学部教授)

日時：2018年5月12日(土)

13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,300円、学生 1,000円(コーヒー込)

関西セミナーハウスでは、大会議室で使用するグランドピアノを求めています。お心当たりの方は、ご一報下されば幸いです。



TEL 075-711-2115

**賛助会費・寄付金報告**

2018年1月1日～1月31日

(順不同・敬称略)

◆**関東活動センター**

賛助会費

坂下 道朗 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

日本基督教団鹿見島加治屋町教会 10,000

藤 知佳 5,000

林 秀雄 5,000

平井 文則・祐美子 5,000

日本基督教団市川三本松教会 3,000

上林 順一郎 10,000

日本基督教団原宿教会 10,000

日本基督教団経堂緑丘教会 10,000

神学生交流プログラム寄付金

日本バプテスト神学校 30,000

日本基督教団須賀川教会 5,000

上原 秀樹 2,000

柳下 明子 5,000

加藤 真規子 3,000

農村伝道神学校 30,000

関西学院大学神学部後援会 30,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

経営委員会有志 6,500

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

柳井 一朗 5,000

小山 稔 5,000

島田 誠一 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

山本 茂 5,000

在日大韓基督教会京都教会 10,000

高橋 望 1,000

公益財団法人京都 YMCA 5,000

和田野 勢津子 5,000

安野 優美 1,000

米澤 敏子 1,000

南 和子 1,000

河合 良子 1,000

東 千代 1,000

廣瀬 芳之 1,000

君村 千代子 1,000

佐々木 公子 1,000

武山 美登里 1,000

藤本 和子 1,000

日本基督教団世光教会 50,000

真鍋 裕子 7,000

日本基督教団天満教会 10,000

佐藤 眞弓 10,000

大島 庄吾 10,000

日本基督教団倉敷教会 5,000

◆**エネルギープログラムなど寄付金**

小久保 正 9,200

以上、感謝をもってご報告申し上げます。